

令和4年度学校自己評価システムシート（さいたま市立浦和南高等学校）

（学校番号 s 49）

目指す学校像	文武において高きに挑み、深く学び、地域社会・国際社会に貢献することができる「知・徳・体」の調和がとれた人材を育成する学校
重点目標	1 自己実現…主体的に学習して自己実現を図る生徒を育成する教育体制の構築を推進 2 文武自考…主体的に取り組む生徒を育成するため活力と特色ある教育活動を推進 3 情報発信…コミュニティ・スクールとして積極的に情報発信を行い信頼される学校づくりを推進

達成度	A	ほぼ達成（8割以上）
	B	概ね達成（6割以上）
	C	変化の兆し（4割以上）
	D	不十分（4割未満）

※重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目（年度達成目標を意味する。）は複数設定可。

※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価					年 度 評 価（2月1日現在）		
年 度	目 標	年 度 評 価	評 価	評 価	評 価	評 価	評 価
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	【現状】 進学重視型単位制、55分授業、週34単位、年8回の土曜授業というシステムが定着し、現役4年制大学進学率は10年連続80%を超えている。 【課題】 ・新学習指導要領実施に当たり主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の取組と観点別評価の実施 ・中長期的成長戦略の構築及びスクールポリシー策定に向けた検討 ・入学時の進路希望と卒業時の進路結果とのギャップを埋めるキャリア教育の計画・実施 ・成年年齢引下げを踏まえた主体的な社会参画への資質・能力の向上	授業力向上による確かな学力の向上	・研修等の充実によりICTを活用した「個別最適な」「協働的な」「探究的な」学びに全教職員が挑戦、授業アンケートで成果を確認 ・観点別評価研修で指導と評価を一体化 ・学校生活アンケートの改善と実施 ・「南高2030プラン」「スクールポリシー」の具体的な検討推進	・指導力向上研修を年3回以上実施 ・学期毎の生徒授業評価の実施 ・ICTを活用した「個別最適な」「協働的な」「探究的な」学びを9割以上の教職員が実施 ・全教職員が観点別評価を深く理解し指導と評価が一体化 ・生徒・保護者アンケート内容を改善し実施、満足度8割以上 ・「南高2030プラン」「スクールポリシー」を踏まえた施策の立案と公表準備 ・一人ひとりの多様な幸せを大切にしている個別最適な学びの実施			
		着実なキャリア教育の推進と進路実現に向けた計画的な取組	・生徒・保護者へ大学進学情報提供充実 ・英検等の合格率向上 ・共通テスト受験啓発 ・学習支援サービスの効果的な活用 ・成年年齢引下げを踏まえたキャリア教育	・生徒・保護者へ大学進学情報提供回数の向上 ・模試分析会の回数と共有状況 ・英検準2級以上の合格率9割 ・大学入学共通テスト受験者9割 ・学習支援サービスの利用状況向上と効果的な活用（個別最適化） ・模擬投票の実施と生徒への啓発			
2	【現状】 生徒の学校行事に意欲度は95.6%、部活動が盛んである意識度98.8%と高い。多様な探究プログラムの取組が定着してきているが、コロナ禍で大きな制約が生じている。 【課題】 新型コロナ感染拡大防止の取組と並列した安心安全な教育活動、部活動に取り組む必要がある。また、多様な探究プログラムと総探の時間等との連動・再構築する必要性有。	主体的に取り組む生徒を育成するための特色ある教育活動	・SDGsを活用した「総探の時間」の実践 ・コロナ禍における探究プログラム一層の充実 ・生徒の主体性を引き出す学校行事の取組	・ICTを活用した「総探の時間」における教科横断的な探究活動の実践 ・探究プログラムへの参加生徒数向上 ・コロナ禍においても生徒の主体性を生かした体育祭・文化祭等の学校行事が実施できたか			
		部活動の充実と安心安全の確保	・生徒の主体性を引き出し、達成感を感じさせる部活動の取組	・生徒の部活動への加入率と満足度 ・従来の安全教育と共に、新型コロナ感染拡大防止への具体的な取組。			
3	【現状】 地域社会と連携したコミュニティ・スクールとして情報発信に努めてきたが、コロナにより活動が大きく制約されている。 【課題】 本校教育活動への理解をさらに深めてもらうため、より一層の地域に開かれた信頼される学校づくりの推進と情報発信が求められる。	コミュニティ・スクールとして開かれた学校づくり	・近隣小中、辻地区、市及び南区との連携推進 ・学校運営協議会との連携・協働の充実	・地域との連携方法と回数の向上 ・学校運営協議会を通して地域と有益な連携・協働の実施の有無。 ・学校施設開放150回超			
		積極的な情報発信	・コロナ禍における安心安全で計画的な学校広報活動 ・学校HPの更新や新たな学校情報発信	・学校広報活動の回数増加と参加者数増加 ・志願倍率過去3年間平均1.3倍超 ・学校HP更新回数 ・安定したメール配信回数を維持			

学校運営協議会による評価
実施日 令和 年 月 日
学校運営協議会からの意見・要望・評価等